

平成30年度ウチナーネットワークサポート事業

ウチナーネットワーク活性化推進助成事業 採択事業事例集

団体名	事業名
名護市	ムルマジユン！世界のウチナーンチュの日イベント等
公益社団法人青年海外協力協会	世界人合宿 2019

第22回世界の家庭料理フェア
～ムルマジュン!「世界のウチナーンチュの日」と共に～

報告書



平成30（2018）年11月
名護市 総務部秘書課
名護市国際交流協会

ムルマジュン！「世界のウチナーンチュの日」2018

- 概要 1899年に沖縄から世界に移民として雄飛して以来、海外で暮らす世界のウチナーンチュは42万人と推計されており、世界各国の様々な分野で活躍している。昨年、第6回世界のウチナーンチュ大会において「世界のウチナーンチュの日」が10月30日と制定されたことを受け、同日を世界中で沖縄の風土や伝統文化等に想いを馳せる象徴的な日として定着させ、ウチナーンチュネットワークの継承・発展をより効果的に進めることを目的とする

- 宣言内容 我々は今日、世界のウチナーンチュのみなさんに伝えたい。
我々ウチナーンチュは、持っている。
我々ウチナーンチュは、未来を創造する力を持っている。
我々ウチナーンチュは、未来への希望を持っている。
我々ウチナーンチュは、世界へ飛び立つ勇氣を持っている。
我々ウチナーンチュは、互いを許し合う寛容な心を持っている。
我々ウチナーンチュは、互いを助け合う相互扶助の心を持っている。
我々ウチナーンチュは、豊かな伝統文化を持っている。
我々ウチナーンチュは、困難に打ち勝つ不屈の精神を持っている。
我々ウチナーンチュは、先祖への感謝の心を持っている。
我々ウチナーンチュは、家族を愛する心を持っている。
我々ウチナーンチュは、出会った人を愛する心を持っている。
我々ウチナーンチュは、郷土を愛する心を持っている。
我々ウチナーンチュは、平和を愛する心を持っている。
我々ウチナーンチュは、ウチナーンチュであることに誇りを持っている。
ウチナーンチュは一つになる。
5年の時を経て、今日、また、世界中からウチナーンチュが集い、心が一つになった。ウチナーンチュがウチナーンチュであることを祝おう
再び世界中からウチナーンチュが集まった今日10月30日を祝い、「世界のウチナーンチュの日」としようではないか。
今日10月30日を「世界のウチナーンチュの日」とし、この誇りを我々ウチナーンチュの魂に刻み込もうではないか。
ここに、誇りを持って宣言します。今日は「世界のウチナーンチュの日」です。

●「世界のウチナーンチュの日」昨年の状況

保育園児や幼稚園、小学生、中学生、高校生、大学生を中心にステージ出演をしてもらい、イベント参加した市民、海外からの観光客、名桜大学留学生、市内事業者等平日にも関わらず約500人の方に「世界ウチナーンチュの日」をPRすることができた。

また、インターネット配信を行い、会場参加者以外にも約120件以上の閲覧数を確認できた。留学生に協力してもらい、祭りの状況を留学生の母国語で取材をし、母国語でSNSに掲載してもらい、広く「世界ウチナーンチュの日」をPRした。

●事業名 ムルマジュン！「世界のウチナーンチュの日」
 ～世界の家庭料理フェアと共に～

●主旨 10月30日の「世界のウチナーンチュの日」を名護市国際交流協会が主催する
 「世界の家庭料理フェア」と合同開催することにより、「世界のウチナーンチュ
 の日」を知らない方々へ周知するとともに、ともに「世界のウチナーンチュの日」
 を祝う。

●テーマ 世界の家庭料理を楽しむ ウチナー文化の発信・再発見

●日時 平成30年11月4日（日）12:00～15:00

●主催者 名護市 ・ 名護市国際交流協会

●会場 名護市国際交流会館（名護市字宮里487番地）

●内容

世界の家庭料理フェア		アトラクション		ワークショップ		調理体験	
場所	販売ブース	場所	研修室A	場所	特設ステージ	場所	調理室
参加店舗	8店舗（予定）	演舞者	調整中	テーマ	コーヒーワークショップ	体験内容	豆腐作り
販売方法	チケット制			講師	酒井 貴博	講師	仲村 和河子
スケジュール		スケジュール		スケジュール		スケジュール	
12:00 オープニング		12:00 オープニング		①世界のコーヒーテイasting		12:15 体験開始	
12:15 販売開始				②コーヒーを美味しく淹れられる		14:30 試食・感想発表	
15:00 販売終了				ワークショップ		15:00 片づけ・終了	
15:30 片づけ・撤収							

①ウチナーンチュの日パネル展

日時：平成30年10月12日～11月5日

場所：市役所ロビー

パネル：市史編さん係所有物展示

④SNSでの発信

名桜大学留学生による母国語でのSNS発信

⑤市民のひろば掲載

10月号へ関連記事を掲載

②学校給食提供

日時：平成30年10月29日

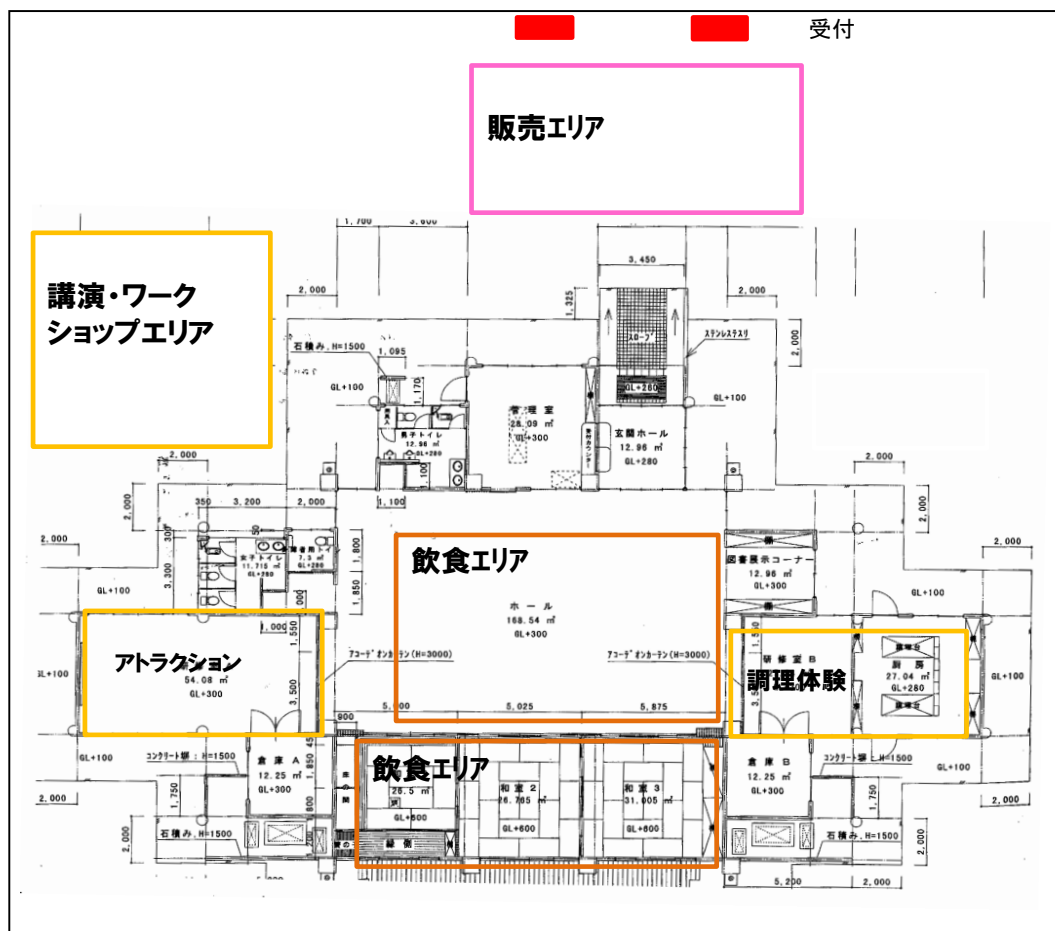
協力：名護中学校3年1組

③海外への周知活動

のぼりを制作し、名護市郷友会へ周知依頼

配布先：ブラジル、アルゼンチン、ボリビア、ペルー

●レイアウト



●参加者 延べ300人

●ステージプログラム

1 開会の挨拶

名護市国際交流協会長 上地 修

2 来賓挨拶

名護市長 渡具知 武豊

～料理販売開始～

3 オカリナ演奏

久音の会

4 世界のウチナーンチュの日挨拶

比嘉アンドレス、伊佐正アンドレス

5 ガムラン演奏とバリ舞踊

マタハリ・トゥルビット

6 名護市中学生海外短期留学派遣事業報告

名護市教育委員会

7 H30名護市海外移住者子弟等研修生紹介

新城安俊、宮里ディエゴ

8 閉会の挨拶

●フィールドプログラム

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1 ゆし豆腐料理教室 | 仲村 和河子 |
| 2 コーヒーワークショップ | やんばる畑人くらぶ |
| 3 名護市中学生海外短期留学同窓会開催 | 名護市教育委員会 |

●各イベント詳細

1) 世界の家庭料理フェア(主管:名護市国際交流協会)

目的: 県内外、留学生、就学生に幅広くよびかけ、それぞれの国の食文化や芸能アトラクションを通して市民と相互理解を深める足がかりとする。各国で親しまれている家庭料理を作り食べることで、レベルの国際交流推進を目指す。

出店国: 5カ国(タイ、ロシア、スペイン、アルゼンチン、ペルー)



2) ステージプログラム(主管:名護市国際交流協会)

司会: 名護市国際交流協会 上地 修

- 1 オカリナ演奏
- 2 世界のウチナーンチュの日挨拶
- 3 ガムラン演奏とバリ舞踊
- 4 名護市中学生海外短期留学派遣事業報告
- 5 H30名護市海外移住者子弟等研修生紹介



3) ワークショップ(主管:名護市秘書課)

1 ゆし豆腐料理教室

目的: 沖縄料理をつくり食べることで、沖縄の魅力を再確認する。

講師: 仲村和河子、仲村絹江

参加人数: 10名

実際: 名桜大学留学生や宜野湾市からきた大学生、年配の先輩方が参加し、ゆし豆腐づくりをとおして、世代間交流や国際交流ができた。※終了後のアンケートあり。



2 コーヒーワークショップその他

目的: 世界のコーヒーを飲みながら、世界の多様性を楽しむ。

講師: 酒井 貴博(Flap Coffee)

参加人数: 6名

その他: コーヒーやスイーツ、野菜販売(協力: やんばる畑人くらぶ)

実際: 料理フェア店舗から、少し奥のほうでの開催となったが、コーヒー購入を目当てに多くのお客さんが来ていた。当日、風が強かったため、コーヒーのワークショップを行うときに、風でコーヒーの粉が飛んだり、香りをじっくり堪能することが難しかった。



4) その他(主管:名護市秘書課)

1 世界のウチナーンチュの日パネル展示

目的:「世界のウチナーンチュの日」周知のため、庁舎入り口にパネル展示を行い、来庁する市民や市職員に対して周知する。パネル内容は、過去から現在(平成30年8月の南米訪問時)の写真を掲載することで、海外のウチナーンチュ40万人の存在をPRするとともに、過去から未来へウチナーンチュのつながりを感じてもらえる内容とする。

期間:10月12日(金)から11月6日(火)まで

場所:名護市役所庁舎ロビー

協力:名護市地域力推進課、名護市教育委員会文化課、名護市国際交流協会



2 世界のウチナーンチュと学校給食を食べよう

目的:「世界のウチナーンチュの日」にちなんで、10月29日、30日に、学校給食に海外のメニューを取入れている。その学校給食を、世界のウチナーンチュである名護市海外移住者子弟等研修生と子ども達が一緒に食べながら、交流を行うことで、世界のウチナーンチュを身近に感じることとしている。

また、名護市海外移住者子弟等研修生の祖父母の出身地の小学校、中学校を優先的に訪問することで、よりつながりを感じることができる異文化交流ができる。

日時:平成30年10月29日(月)

協力:名護市立 名護中学校3年1組

内容: ①てんだばる語れ〜会(朝8:10)で、ボリビア・ペルーの紹介する。
②給食の準備、食事、片付けを通して、子どもたちと交流する。



3 海外への周知活動

目的: 名護市の持つ「世界のウチナーンチュの日」と同じデザインののぼりで、スペイン語、ポルトガル語ののぼりを作成し、南米各国の郷友会のイベント時に掲げてもらうことで、一体感とともにつながりを強化することを目的とする。

配布先: サンタクルース名護市郷友会(ボリビア)
 ブラジル・サンパウロウリずんの会
 カンポグランデ名護郷友会(ブラジル)
 アルゼンチン名護市民会
 ペルー名護市郷友会



スペイン語



ポルトガル語

枚数: 50枚(各郷友会8枚、保存用10枚)

●運営スタッフまとめ

	詳細	人数	名簿			
1 全体	全体・総括(内、外)	3	岸本尚志 (秘書課)	島袋幸子 (秘書課)		
2 出店	当日券(2名)、前売特典ドリンク(2名)	4	塩浜敦子 (秘書課)	宮城雅也 (総務課)	岸本康孝(工事 契約検査課)	金城麻友 (財政課)
3 出店	当日券販売と店舗との調整係	1	比嘉アンドレス (協会事務局)			
4 出店	トレふき	2	玉城知恵美 (協会ボラ)	玉城ひろ菜 (協会ボラ)	備瀬麻紀 (協会ボラ)	上原愛生 (協会ボラ)
5 アトラクション	ステージ運営、出演者との調整	1	永塚佐紀子 (協会事務局)			
6 アトラクション	司会・アナウンス	1	上地修 (協会長)			
7 WS	料理教室の補助※10/18リハ有。	2	野村みさき (総務課)	神山あかね (税務課)		
8 WS	畑人クラブのサポート	2	仲地亮 (園芸畜産課)	古波津求 (園芸畜産課)		
9 駐車場	駐車場整理、市長車誘導	3	岸本圭太 (総務課)	具志堅興太(税 務課)	金城竜也 (財政課)	
10 会場	会場係(テーブルふき、トレ回収)	3	仲里幸一郎 (協会ボラ)	具志堅佳子 (協会ボラ)	山口貴子 (協会ボラ)	
11 会場	ゴミの分別アシスタント	3	三宅真広 (協会事務局)	小柳巖 (協会ボラ)	栄野川 盛正 (協会ボラ)	

Special Thanks イベントに携わっていただいた全ての方々

4thマジック!

同時開催

世界のウチナーンチュの日

～「第22回 世界の家庭料理フェア」と共に～2018

World Uchinanchu's Day 2018

～with "The 22nd Eat the World in Nago"～

★ コーヒーワークショップ Coffee Workshop
by 酒井 貴博 (FLAP COFFEE)
Takahiro Sakai

12:00～15:00 随時受付中
Accepting at any time.

① テイスティングクイズ 15min ¥500
Tasting Quiz

② 淹れ方 13:30～14:00^{MAX} 10名 ¥500
How to Make

★ ゆし豆腐料理教室 Yushi-Dofu Cooking Class
by 仲村 和河子 Wakako Nakamura

12:15～14:30 先着10組 ¥500

○ 親子参加OK (お子様は小学生以上1人まで)

材料費として¥500
頂いております。

お問い合わせ先

名護市秘書課

Nago Secretarial Division

Tel: 0980-53-1212 (内線247)

名護市国際交流協会

Nago International Association

Tel: 0980-51-0123



10.30 世界のウチナーンチュの日
WORLD UCHINANCHU DAY

第22回 世界の家庭料理フェア ～「世界のウチナンチュの日」と共に～ 2018

The 22nd Eat the World in Nago 2018
～ with "World Uchinanchu's Day" ～

日時： 2018年11月4日(日) November 4th, 2018

DAY・TIME

12:00 オープニング"opening Ceremony

開店 12:15 ～ 閉店 15:00
open closed

場所： 名護市国際交流会館
PLACE Nago International Center

ARGENTINA
Okinawa

Peru



Philippines

Russia

Thailand

SPAIN

チケット販売： ¥1,000 -
TICKET

(@ 名護市国際交流会館, 名護市秘書課)
Nago International Center, Nago Secretarial Division

お問い合わせ先
裏面を
ご覧下さい。

ウチナーネットワーク活性化推進事業

世界人合宿 2019 プログラム実施報告書

1. 事業の内容

(1) 目的：

沖縄県の国際交流事業経験者を主な対象に、高校生から社会人まで国際協力・交流に関心のある者が共に学び合える“場”を提供し、同じような志を持つ仲間とのネットワークの構築と強化を目的とする。

(2) 実施内容：

沖縄県の国際交流事業経験者や、国際協力・交流事業に関心のある若者（高校生、大学生、社会人）を対象に、プロジェクトアドベンチャー（以下、PA）手法を通してコミュニケーション能力や信頼関係構築力等を養う1泊2日の合宿を行う。来沖中の JICA 研修員とスポーツで交流し、ノンバーバルコミュニケーションの実践も行う。

2. プログラム概要

(1) 日時：2019年2月2日（土）10:00～21:00 2月3日（日）9:00～12:00

(2) 場所：浦添城址公園、JICA 沖縄

(3) 対象者：沖縄県の国際交流・協力に関心のある県内全域の若者等 25 名

別紙1 講師紹介、世界人合宿 2019～わくわくトレジャーハント in 浦添実施プログラム

別紙2 参加者感想抜粋



<講師紹介>



堀江 清二 （まなび工房 代表）

【活動紹介】

冒険教育など、人間関係トレーニング的な体験学習プログラムを扱うことが専門。子どもから大人まで幅広い層を対象にしたプログラム、指導者養成研修など、数多くの事業を企画運営している。広島県内の自然教育、平和教育を実施している広島県内の第1人者。

<世界人合宿 2019～わくわくトレジャーハント in 浦添実施プログラム>

合宿1日目 2月2日（土） 10:00～21:00 場所：JICA 沖縄、浦添城址公園

時間	所要時間	プログラム	場所	担当
9:00～10:00	60 分	スタッフ集合、会場設営等準備	JICA 沖縄 多目的室	JOCA 小林
10:00～10:30	30 分	合宿開講式 ・趣旨説明、プログラム確認等 ・おきなわ世界塾塾長挨拶（我如古） ・講師紹介		堀江講師
10:30～10:45	15 分	各チームで自己紹介		
10:45～12:00	75 分	チームビルディング		
12:00～13:00	60 分	昼食 海外体験～カレーを手で食べてみよう～	OIC 食堂	
13:00～13:30	30 分	浦添城跡公園へ移動		
13:30～16:30	180 分	PA 手法を用いたフィールドワーク ・川渡り ・私のお気に入り	浦添城址 公園	堀江講師
16:30～17:00	30 分	JICA 沖縄へ移動		
17:00～18:00	60 分	フィールドワークの振り返り PA 手法とファシリテーション講座	JICA 沖縄 多目的室	堀江講師
18:00～19:00	60 分	夕食	OIC 食堂	
19:00～22:00	180 分	<JICA 沖縄研修員との交流会> ・アイスブレイク ・チーム対抗競技 ・マダガスカルのスポーツ「クバーラ」	JICA 沖縄 体育館	諸喜田真子 JOCA 島袋 JOCA 小林



講師による自己紹介、アイスブレイク



チームメンバーに向けて自己紹介



異文化体験。カレーを手で食べてみよう



PA 活動によるチームビルディング



フィールドワーク「私のお気に入り」。五感を使って自然の中のお気に入り探し。



参加者企画。JICA 沖縄研修生とスポーツ交流会。

合宿 2 日目 2 月 3 日（日） 9:30～12:00 場所：JICA 沖縄

時間	所要時間	プログラム	場所	担当
9:00～9:30	30 分	スタッフ集合、プログラム準備	JICA 沖縄 多目的室	JOCA 小林
9:30～10:30	60 分	朝の目覚ましプログラム アイスブレイク & チームビルディング		堀江講師
10:30～11:30	60 分	全体振り返り		JOCA 小林
11:30～12:00	30 分	閉講式 ・ 講師挨拶 ・ おきなわ世界塾塾長挨拶（我如古）		
12:00～13:00	60 分	会場片付け		



フラフープを使った朝の活動。体と頭を目覚めさせ、合宿 2 日目に挑む。



朝の活動（ボール渡し）。各々の意見を出し合い作戦を立てる。



二日間の全体振り返り。「合宿で学んだことと、日常にどう活かすか」発表。

世界人合宿プログラム
2019 年 2 月 2 日（土）～3 日（日）
～参加者からの声（一部抜粋）～

決意を新たにする機会となりました。無事に、3 年～5 年の下積みをやリ遂げ、2 年間挑戦したいと
思います。世界塾のおかげで、今先生がんばっています。誇りを持ってました。先生として一人でもい
いから、子どもたちの力に、支えになれるよう日々前進していきます。高校生、大学生に負けません。
（社会人 男性）

毎回、世界塾に来るたびに来て良かったと思います。今回は特にそれを感じました。
いろいろな背景を持つ方と、真剣に時にははしゃぎ合うユニークさを持ちながらお話をする機会は
中々無いなかで、自分の考えを伝える場があるのはすごく素敵だなと思いました。（大学生 女性）

職種や年齢の違う人たちとの交流や活動を通し、いろいろなことを学ぶことができたと思います。ま
た、いろいろなことに参加・挑戦してやりたいことを見つけていければなと思います。（大学生 女性）

今回このようなステキなプログラムに参加できて本当に良かったです。これからもっとギャップのあ
る世界を楽しみます！また参加できる日を楽しみにしています。（大学生 女性）

今回のプログラムに参加して「私がしたいこと」を明確にすることができました。・人とのつながり・
子どもたちの学びの場・楽しむ これからも沖縄のため、子供のため、自分のためがんばります！
（社会人 女性）

身体と五感を通し、気付きと学び、心に栄養をいただきました。フィールドワーク、スポーツ交流 刺
激的で楽しかったです最初から最後まで、自分に目を向けるぜいたくな時間でした。（社会人 男性）

久しぶりに新しい出会いがあり、色んな人の話が聞けて楽しかったです。ファシリテーションとは多
様性の活用とか学校教育につながることで、必要なことで、べんきょうしないといけないなと思いまし
た。（社会人 女性）

参加して本当に良かったです！満足度 100%！初めて参加しましたが、もっと早く参加しておけば良か
ったと思ってます。違う職種、年齢、性別の方々と無条件に関われる時間を共有できるこの場、すご
い素敵です。同じ何か共通のモノをもつメンバー同士でもあり、刺激ばかりでした。ここで 2 日間学
べたこと、今後に生かしていけることばかりでした！又、来ます！（社会人 女性）